

ひたちおたてくくウォーク ⑦

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

春友町ハイキングコース 距離：約4km 所要時間：1時間半

① 賽の河原の地蔵尊(風邪除け地蔵)



このお地蔵さんにお詣りすると風邪をひかないといわれている。

② 鎌倉坂



八幡太郎義家が奥州に向かうおり、この地が鎌倉に似ているため名づけられたと伝えられている。本来の古道が民有地の中に残っている。

⑤ 春友薬師堂



中には薬師如来像が安置され、外には如意輪観音や地蔵菩薩がある。

③ 中央橋



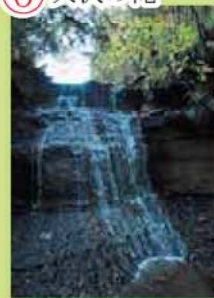
地域では「めがね橋」の愛称で親しまれている中央橋、全国的にも珍しくデザイン的にすぐれたこの橋は平成22年に選奨土木遺産の認定を受けている。

④ 鹿島神社の石抱きケヤキ



表からは分かりにくい裏から見ると大きな石を根元に抱き込んでいる、ど根性ケヤキ。本市にはまだまだ知られざる名木がある。

⑥ 大沢の滝



看板やあやめ園を整備し新たな遊歩道も作成中で、滝の高さは5m。丸く削れた滝壺へも、はしごで降りることができ神秘的な滝を間近で見ることができる。



今回は春友町を歩きました。春友彫刻の森は、市内の観光地以外で年間を通じて一番人が来る場所ではないでしょうか？ テニスコートの近くの駐車場に車を停めて、彫刻の森を散策してから大沢の滝へ歩き始めました。先月号でお伝えしましたが、春友町はエコミュージアム活動でお宝マップを作ったばかり、気合の入りがちょっと違います。当日も地元の案内人の方が大勢来てくれました。

案内されてみて、こんなに近くにお宝があったかとビックリしました。また、春友町に滝があるなんて思っていませんでした。まだ未整備の「春友の滝」を含め、伝説を持つ夜泣き地蔵など、紹介しきれないお宝もたくさんあり、これからのハイキングコースの整備に大きな期待がかかります。

表紙によせて

表紙は「行灯の赤レンガと銀杏まつり」で旧町屋変電所を彩った「ひょうたんランプ」です。製作者はランプを作り始めて10年の根本愛子さん(西河内下町)。ひょうたんに穴を開けて色とりどりのビーズをはめ込み、中にLED電球を灯しています。良くできたものは、まるで子どものようにかわいいとのことでした。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
☎72-3111(内線303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています